市民による芸術文化の共同事業体情報誌「ぬーべるふぉんてーぬ」 67

nouvelle Fontaine

発行日 2020年4月25日
発　行 岸和田文化事業協会
〒596-0073　岸和田市岸城町5-10
岸和田市立自泉会館内
TEL/FAX 072-437-3801
Email:fontaine@sensyu.ne.jp
http://www2.sensyu.ne.jp/fontaine/

『岸和田城下町サミット』発進!!

岸和田文化事業協会会長　齊藤　憲子

城下町として発展してきた岸和田市は、今も歴史的建造物がいくつも残されています。岡部五万三千石岸和田城の周辺には、古来産土神として祀られ岸和田城下総鎮守の岸城神社。旧寺田財閥の別邸、五風荘。100年の歴史、現存する民間能楽堂では府下最古の杉江能楽堂。国の登録有形文化財である自泉会館などがあります。これらの施設は文化を届ける場としての活動を続けており、一年を通し様々なイベントを開催してきましたが、それは個々に行うものでした。歴史や伝統ある地域の文化財や催しを開催している団体が協力し合い交流する為に、私たち文化事業協会にできることはないだろうか。今こそ市民自らが文化の担い手となり実現していく『岸和田方式』を実践する時ではないか。そんな思いを各団体に発信し、先にあげた５つの施設に加え、だんじり会館、まちづくりの館、クラブ・コントラーダを管理運営する７団体が手を取りあうこととなり、岸和田の文化を伝承し盛り上げていくための委員会『岸和田城下町サミット実行委員会』が結成されたのです！

私たち岸和田文化事業協会は、これからの文化発展には大人はもちろんのこと、子どもたちを育てていくことが大事だと考えています。親子で楽しめ参加できる事業を計画するものの、自分たちだけでは抱えきれず実現できなかったり、思いつけなかったりがたくさんありました。様々な立場の人たちと共に語り行動することで、もっと事業に広がりを持たせられるはずです。各団体も同様の認識だったのは大変力強く、また幸いであったと言えるでしょう。

歴史は一朝一夕で出来るものではありません。たくさんの人々が連綿と続けてきた営みの上に降り積もっていくのです。だから、日本のどの町にも人が暮らしてきた歴史は存在しています。そんな中で城下町という特殊な歴史を持っているのは希有なことです。それは岸和田の持つ奇貨ではないでしょうか。だんじり祭は全国に知られるようになりました。けれどそれだけではない。お城があり、それ故に生まれたたくさんの文化がある町。それが岸和田なのです。

『岸和田城下町サミット』がこうした岸和田の魅力発信の拠点となるために何が出来るのか、今はまだ模索しているところです。城下町ならではの妙味、城下町だからこその吸引力がきっとある。ワクワクドキドキしながらそんな思いを抱いています。これからの活動にご期待下さい！そしてこぞって参加していただければ、とても嬉しく思います。

※岸和田城下町サミット実行委員会参加７団体　（五十音順）
岸城神社
岸和田城・だんじり会館（岸和田市観光振興協会）
岸和田市立自泉会館（岸和田文化事業協会）
クラブ・コントラーダ（株式会社フラット・フィールド・オペレーションズ）
五風荘（株式会社岸和田グランドホール）
杉江能楽堂（株式会社 TI plus ホールディングス）
まちづくりの館（本町のまちづくりを考える会）

第12回フレッシュプレミアムコンサート最優秀賞受賞記念

中道亜莉沙 ピアノリサイタルを終えて

ピアニスト　中道 亜莉沙

先日、第12回フレッシュプレミアムコンサート最優秀賞受賞記念コンサートに出演しました。お越しくださいました皆様、自泉会館のスタッフの方々、その節は大変お世話になりありがとうございました。今回「おはなしきかせて」を執筆させていただく事になりました。今後ともお付き合いいただければ幸いです。

ではここからは、わたしの普段の生活を紹介したいと思います。どういう生活をしていると思われますか？ピアニストってどんなイメージでしょうか？

広い豪邸に住み、朝から晩まで好きな時間にピアノを練習して、ご飯は専属シェフが作ってくれた特製料理を爺やが運んできてくれ、夜は知人の演奏会へ出掛けて…。

いいえ、めっちゃ働いています。働かないと生きていけません。私は事務職のピアニストとでも言いましょうか？平日8時～17時、フルで勤務しています。ちなみにワンルームにひとり暮らし、彼氏募集中です(#^.^#)

家族の応援もあり、有り難いことに大学、そして大学院まで通わせてもらいました。大学院まで行ったのになぜ？プロのピアニストになる流れでしょ？とお思いのあなた！チッチッチッ。そんな甘い世界ではありませんよ。

演奏活動だけで生計を立てていけるのは、ほんの一握り。実際、同期の仲間のなかで言うと2～3人でしょうか。なかなかシビアでしょう？あとのみんなは、私のように働きながら(音楽教室や自宅でのレッスン含む)演奏活動をしています。中には演奏することを全く辞めてしまう仲間もいます。続けることの理由としては色々ありますが、単純には「今までやって来たから」でしょうか。これからもきっとそれは変わらないと思います。

学生の頃練習に費やしていた時間がそのまま勤務時間にスライドされて、ピアノに触る時間が大幅に減りました。「毎日仕事をして、疲れて家に帰って寝る」という生活は、私にとっては物足りなく感じて…。何も悪いことはしていないのに、なんと言うか後ろめたい気持ち。周りの演奏を頑張っている友達や、これまで指導してくださった恩師に合わす顔がないと落ち込んだりもしました。

そんな繰り返しの毎日の中に、ピアノ(朝練or夜練)をプラスするとどうでしょうか。充実感が違いました。そりゃあ体力的には疲れます。でも心は安心できました。習慣って恐ろしいですね。知らぬ間に、精神安定剤のような存在になっていたようです。おかげで夜もぐっすり眠れ、いつも快眠です。

周りと比べないこともポイントです。自分と全く同じ状況の人はいません。マイペースに進んでいこう！と自分に言い聞かせています。

学生を卒業するときに、ある恩師からいただいた言葉があります。「1年に1回でいいから演奏する機会を作ること。それを続けること。人前で演奏することを久しぶりにすんじゃねぇぞ」と、笑って言われたことを良く覚えています。

環境が変わり、学生ステージの自分から社会人ステージの自分になっただけ。ゆくゆくは主婦ステージ、お母さんステージ、おばあちゃんステージに登り詰めます。

人生100年時代！これからも変わらず側にピアノを置いていきたい所存です。

めざせ！岸和田マイスター

【岸和田藩岡部家編】

監修：江間 一夫

岸和田市の魅力をお伝えする岸和田マイスター。岸和田城、城下町、JR阪和線界隈、岸和田藩と岡部氏、市内の神社を問題形式でお届けしてきました。
このあたりで、もう一つ扉を開けましょう。
さらに奥深い岸和田を知ってみませんか。
今回より、岸和田藩岡部家の歴代藩主について詳しくご紹介いたします。

【１】岡部宣勝（のぶかつ）

官職：従五位下・美濃守
生没：慶長2年～寛文8年10月19日
　　1597～1668（江戸生・72歳没）
在職：寛永17年9月11日
　　～寛文元年10月27日
　　1640～1661（44～65歳）
領地：美濃大垣5万石→播磨龍野5.3万石
　　→摂津高槻5.1万石→和泉岸和田6万石
業績：城郭整備・石垣筋改修・津田川堤建設
　　朝鮮通信使接待役　→　【参考１】
建立：梅渓寺（母洞仙院位牌所・曹洞宗）
　　泉光寺（岡部家菩提寺・臨済宗）

【２】岡部行隆（ゆきたか）

官職：従五位下・内膳正
生没：元和3年～貞享4年12月25日
　　1617～1687（江戸生・71歳没）
在職：寛文元年9月11日
　　～貞享3年8月25日
　　1661～1686（45～70歳）
分地：弟　高成＝5000石　豊明＝2000石
藩札：寛文2年　発行　→　【参考２】
業績：寛文5年　『家中法度』制定
　　天和2年　朝鮮通信使接待役
検地：寛文5年　実施　→財政改革

【参考１】朝鮮通信使接待役

通信使の通信とは信（＝誼）を通じる（＝親しく交わる）の意味で、家康から朝鮮国王への国書に対する回答として派遣される。朝鮮側では刷還使（＝朝鮮人捕虜の返還を求める）ための使節とされている。

経費は１回につき約100万両かかり、大部分は幕府が賄うが、接待役の各藩にも経済的・人的負担があった。客館は江戸＝浅草・本誓寺、大坂＝東西本願寺などの大寺院が利用された。岸和田藩は通信使11回のうち７回接待役に任命された。その内訳は［寛永20・宜勝］［明暦元・宜勝］［天和2・行隆］［正徳元・長泰］［享保4・長泰］［寛延元・長著］［明和元・長住］

岸和田藩が関わったトラブルは享保4年（1719）の待遇改善問題がある。幕府指示で近衛家指導により使節待遇改革、いわゆる待遇簡素化を計画したが、朝鮮側の不服により、大坂到着日に従来の待遇に決着した。また、明和元年（1764）の唐人殺と云われた事件がおこった。副使・崔天崇が対馬藩通詞・鈴木伝蔵に殺害された。鈴木伝蔵は捕縛され、尻無川で処刑された。

以後、経費の問題などで、明和元年（1764）が最後の通信使となった

【参考２】藩札発行

寛文2年（1662）岸和田藩は全国で２番目に藩札を発行した。寛文元年（1661）に越前福井藩が全国初の発行であった。岸和田藩の財政がかなり苦しいことが推測できる。この他は延宝4年（1676）延宝9年（1681）天和2年（1682）貞享2年（1685）元禄5年（1692）発行には銀一匁札・銀五分札を発行した。

その札元は、【佐野】食野・唐金【岸和田】扇屋・紙屋・七人庄屋・中左近・中左太夫…であった。

宝永4年（1707）藩札通用禁止、享保15年（1730）解禁発行、元文4年（1739）贋藩札事件がおこった。流通量が発行量より多いことで発覚した。処罰は天満三小豆島屋六右衛門借家・吉田屋喜兵衛（交換）大坂阿波町大津屋利兵衛借家・中島彦右衛門（印刷）上難波町木村屋三郎兵衛借家・多田屋勘兵衛（版木）岸和田浜町鰯屋庄次郎借家・青木屋喜兵衛（両替）で、青木屋喜兵衛を除く上記3名が死罪となった。

明治4年（1871）には廃藩置県が実施され、藩札通用禁止、後に回収された。

みなさんこんにちは！ おじかくらぶ です！

おじかくらぶの始まりは家庭教育学級「あすなろ」でした。あすなろで郷土史研究家の玉谷哲氏をお招きし「久米田古墳群ウォーキング」を行いました。先生と現地を回りながら、貝吹山古墳から石棺・銅鏡・銅鏃（どうやじり）・鉄製かぶと・腕輪形の石製品などの副葬品が発掘され、ここが古墳群であり摩湯山古墳を含む周辺が大和朝廷にも並ぶような豪族がいたかもしれないなどの話を聞きました。その時の驚き！身近にこんなに興味深い歴史があったなんて！

それから泉州の語り部・阿部栄子先生をお招きし、昔話を子どもたちと一緒に演じました。泉州にこんなにおもしろい伝説がたくさんあり、ともに演じる楽しさを知りました。

私たちが昔話や歴史を知り伝えることで、子どもたちが昔話を好きになり、故郷岸和田を大切に思うようになってほしい！そんな思いから2008年4月、おじかくらぶは「岸和田の昔話の人形劇」として誕生しました。

昔話を学んでいくと様々な事実が浮かび上がってきました。「酢壺池」のお話の舞台岡山町には昔「酢垣内」という地名があり、和泉国では日本最古のいずみ酢が作られたという事実があります。「久米田池」のお話には、池を作った時に湯茶の接待をした娘が池の主になったという話があり、娘の出身地田治米村と周辺地域に関する数々の古文書が残されているのです。さらに昔話には歴史の事実だけでなく、その時代に生きた人々の信仰や生活への思いがこめられていることもわかってきました。

これらを見つけていくプロセスは、まるで「昔話の冒険！」です。

毎年一つの話を決め、話の舞台に足を運び地元の方から話を聞き、その話が書かれている文献を探します。現地に行き人に出会うと、お話の風景を実際に感じて昔話がまるで目の前にあるような気持ちになります。そこから台本作りが始まります。

お人形も手作りで、時代に合わせた衣装を調べて製作するのも楽しみのひとつです。小道具大道具、背景の絵。すべて手作りのおじかくらぶの人形劇。

でも最後に仕上げてくれるのはみなさんです。みなさんが劇に足を運んで下さった時、初めておじかくらぶの劇ができあがります。公演のたびに何かが違うのです。それがライブなんだと感じます。毎回本当に感動です。

「おじか」は葛城山の仙人の名前です。（「岸和田のむかし話～市制70周年記念～」より）

おじかくらぶでは、一人では勇気が出なかった「おじか」が、みんなの応援を得て初めて空を飛び岸和田の里を救う話として描きました。ひとりの力は小さいけれど、仲間たちと協力し夢をかなえようという思いを込めて「おじかくらぶ」と名付けました。見てくださるみなさんのおかげで、おじかくらぶが活動できることは本当に感謝の気持ちでいっぱいです。これからも岸和田の昔話を学び、少しでも多くの方々に伝えることができたらうれしいです。これからもよろしくお願いします！！

これからのおじかくらぶの活動は「おじかくらぶ」で検索してくださいね。

ラハイナ・ウクレレクラブ

今からおよそ140年前、ポルトガルからウクレレの原型となる楽器がハワイにやってきました。この楽器には、ポロロンといった明るく暖かい音色に大きな魅力があります。

ポルトガル移民が初めてハワイの人たちの前で披露したときハワイの人たちは、たちまちこの楽器に魅了されます。ウクレレはハワイアンソングの代表的な伴奏楽器としての地位を確立したのでした。

私たち「ラハイナ・ウクレレクラブ」は、ウクレレ演奏の習得を通じて、メンバーの交流と親睦を深め、音楽にふれあう機会を増やすことで、日々の生活を豊かにしたいと思う人たちの集まりです。

趣味で楽器を楽しみたい人には、グループレッスンで肩の力を抜いて、わいわい過ごせる時間が丁度いい感じです。人と一緒に練習すると、わからないところを教えあったり、1人でやるのとは違う楽しさを感じる事ができて長く楽しく続けることができます。

知らないハワイ語の曲でも、その歌詞の意味が分からなくても、声を出して唄うことで音楽が伝えようとしているものをなんとなく体感できます。

あるときは心を落ち着かせ、あるときはパワーを生み出してくれる音楽とともに生活を送れるなら、きっと私たちの人生は今まで以上に豊かになっていくだろうと思えてきます。そんな想いを描きながら、いつもと少し違った素敵な週末の夜を楽しく過ごそうと思う人たちが自然に集まっています。

講師の桶谷康二先生は、楽器ならなんでもＯＫ。優しい口調と軽快なトークやソフトな歌声。心から音楽を愛し、現在泉大津市を中心に優しい奥様と二人三脚で精力的に音楽の楽しさを伝えてくれています。童謡・歌謡曲・ハワイアンなど様々なジャンルの曲に挑戦し、悪戦苦闘。毎回笑いが絶えることなく楽しんでいます。

ご高齢で必ずしも体調が万全でない桶谷先生が、私たちに一生懸命伝えようとしてくれているウクレレの魅力、音楽の魅力と楽しさをしっかり自分の中に吸収し、一生涯の宝物として末永く愉しんでいきたいと思うのが私たちの願いです。

ラハイナ・ウクレレクラブ

＜教室案内＞
岸和田市立中央公民館
596-0072 大阪府岸和田市堺町 1-1
TEL 072-423-9615
月２回第１、３金曜日　19：00～21：00
講師・桶谷康二
問い合わせ
石倉　080-5515-2385

令和2年 岸和田文化事業協会事業予定

（令和2年4月～令和3年3月）

会員の皆様より希望事業をいただきありがとうございます。それを基に理事会・常務理事会で話し合い決定しました。
詳しくは、その都度ちらし等でお知らせしますので、参加のご予定をお願いいたします。

5月23日（土）	令和2年度岸和田文化事業協会定時総会
5月23日（土）	私みたいになるな！汚部屋の過去から学ぶ「片付けセミナー」
6月6日（土）	ベートーヴェン生誕250年を記念して ～ピアノ&ヴォーカルコンサート、交響曲第九番“歓喜の歌”（共催）
7月12日（日）	第9回自泉ジュニアコンサート　オーディション
8月1日（土）	第7回自泉Re.フレッシュコンサート
8月30日（日）	第9回自泉ジュニアコンサート　本番
10月2日（金）	第62回自泉フレッシュコンサート
10月　日は未定	お月見の会（岸和田城下町界隈） 東洋と西洋の音楽（演奏とお話）
10月　日は未定	研修旅行の為の講座　近江方面に関する内容
11月3日（火・祝）	文化の日祝典記念事業　(マドカホール)
11月　日は未定	フルートアンサンブルコンサート
11月23日（月）	研修旅行　近江方面
12月19日（土）	第63回自泉フレッシュコンサート
12月19日（土）・20日（日）	第4回自泉クリスマス会（展示・ワークショップ）
12月20日（日）	第4回自泉クリスマス会（舞台）
2021年	
1月　日は未定	野上貴子＆市民参加型自泉コーラス隊新春コンサート
1月　日は未定	ベートーヴェンの軌跡（自泉フレッシュアーティストバンク）
2月　日は未定	岸和田文化事業協会文化祭（展示）
2月　日は未定	岸和田文化事業協会文化祭（舞台）
2月　日は未定	自泉会館にまつわる講演会
3月6日（土）	第13回フレッシュプレミアムコンサート(マドカホール)
3月　日は未定	3館合同事業（浪切・特別会議室）
日程未定：	自泉会館ロビー壁面を使用しての映像作品の展示も予定
日程未定：	岸和田漫歩も予定

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業が中止・延期になる場合が有ります。ご了承下さい。

※予定ですので変更になる場合があります。

岸和田文化事業協会の会員になりませんか

（2020年4月～2021年3月）

★会員の特典は

- 自泉フレッシュコンサート・自泉Re.フレッシュコンサートのうち2回まで無料で入場できる応援券を進呈
- 浪切ホール主催事業のチケットを会員価格で購入可（浪切での直接購入はできません）
- 2月の岸和田文化事業協会文化祭への出演・出展可
- 事業によっては、会員先行予約や会員価格有り(各チラシに記載)
- 当協会主催事業時に文化芸術チラシの挟み込み可(無料)
- 会員への郵送時に文化芸術チラシ等同封可（1種類につき郵送補助金1000円必要）

Event Report

JISEN CONTEMPORARY SHORT FILM & VIDEO（自泉コンテンポラリーショートフィルム&ビデオ）

作品タイトル:
「今日のもがき −1522 days−」
作家名:イガわ 淑恵
上映期間:
令和2年1月8日(水)～2月2日(日)

作品タイトル:
「ある瞬き presence of absence」
作家名:江上茉李
上映期間:
令和2年2月4日(火)～3月1日(日)

作品タイトル:「サヨナラ、いっさい」
作家名:渡邉高章
上映期間:
令和2年3月3日(火)～3月29日(日)

Event Report

アンケートからの抜粋

協会主催の事業にご来場いただき、有難うございました。
アンケートにご協力いただいた方の感想を紹介させていただきます。

現代アート展「HER/HISTORY」

日時:1月17日(金)～1月28日(火) 午前11時～午後6時
展示場入場者数/434人・アーティストトーク参加者数/52人
ワークショップ参加者数/6人・上映会入場者数/10人

〈皆さんの声〉
◆美術館の無い岸和田で現代アート展が出来たことは画期的なことだと思います。
◆展覧会のテーマもとても興味深く、コンパクトながら充実した展示でした。
◆この展覧会を観て、大きな国際展や都市部での大々的な展覧会だけが良い作品を観ることができる場でももはやないし、面白いことをすれば地元の人にも、また遠方からの方々にも観てもらえる機会が作れる事が現代アートの可能性なのかもしれない。
◆こんなに素敵な建物と文化的な行事が運営されていたとは全く知りませんでした。今後岸和田に注目です。

現代アート展「HER/HISTORY」関連事業 連鎖 ―アート×音 楽― 原由莉子ピアノリサイタル

日時:1月25日(土)午後5時開演
入場者数:62人

〈皆さんの声〉
◆音楽は心を豊かにする。そんな素晴らしい演奏でした。
◆耳馴れた曲が多く1曲1曲丁寧に解説され、とても分かりやすかったです。
◆とても面白い選曲で楽しませていただきました。美しく豊かな音色に堪能しました。
◆おしゃべりがありメロディーがあり、リラックスして楽しく聴くことができました。
◆よく考えられたプログラムだと思いました。

自泉ファミリーコンサート ～ジブリがいっぱい～

日時:1月26日(日)午後2時開演
入場者数:61人

〈皆さんの声〉
◆少子高齢化の時代をより子どもにやさしい社会にするために、有意義な企画だと思いました。
◆生演奏を子どもと一緒に聞くことができ、素敵な時間を楽しめました。
◆若い方のエネルギーを頂けました。

市民参加型演劇公演「黄昏が恋しくて」

日時:2月2日(日)午後2時開演
入場者数:74人

〈皆さんの声〉
◆皆さんが主役って良いですね。キャラが濃く面白かったです。
◆舞台の距離感も近くて身近に感じられ、とても感動的でした。
◆皆さんが一生懸命取り組んでいて熱い思いが伝わってきました。

3館合同事業「塩田千春展 永遠の糸」(於:マドカホール)

日時:2月5日(水)～3月15日(日)
平日:午前10時～午後5時、土日祝:午前10時～午後8時
展示場入場者数:8868人
総入場者数:9505人

〈皆さんの声〉
◆岸和田で塩田さんの作品を観ることができるなんて夢にも思いませんでした。
◆有料にしてでも、もっと作品を観たかった。
◆是非実物を観たいと思っていました。念願がかないました。

第12回フレッシュプレミアムコンサート 最優秀賞受賞記念 中道亜莉沙ピアノリサイタル

日時:2月22日(土)午後3時開演
入場者数:59人

〈皆さんの声〉
◆素敵なピアニストさんに出会えて光栄です。
◆お仕事をしながらピアニストとしても活躍されて、とてもとても素晴らしいです。
◆人柄が見える演奏会でした。ピアノを弾く身としてとても勉強になりました。
◆クラシックは敷居が高かったのですが、この演奏会でクラシックが身近に感じることができました。

第13回フレッシュプレミアムコンサート

新型コロナウイルスの影響により延期となりました。
日程は後日お知らせいたします。

お願い 岸和田文化事業協会で取り上げてみてはどうかと思われるコンサートや展示会がございましたら、ぜひ事務所まで案を届けてください。今後の参考にさせていただきます。

お知らせ 会員の方は8面に文化情報を掲載することができます。掲載希望の方は事務所までお越しいただき用紙にご記入ください。多数希望の方がいらっしゃる場合や当協会主催の事業がたくさんある場合はご希望に添えないこともあります。ご了承ください。

岸和田文化事業協会の事業 Information

◆令和2年度　定時総会開催◆

令和2年度定時総会を下記の要領で開催いたします。
日時：令和2年(2020年)5月23日(土)午後1時より
会場：岸和田市立自泉会館ホール
内容：①令和元年度事業・決算報告
　　②令和2年度事業計画・予算案審議

●私みたいになるな！ 汚部屋の過去から学ぶ「片付けセミナー」

日　時：令和2年(2020年)5月23日(土)
　　午後2時45開講予定(総会終了後)
会　場：岸和田市立自泉会館ホール
講　師：西村 尚美(汚部屋改善コンサルタント)
入場料：会員/無料　一般/500円

●ベートーヴェン生誕250年を記念して ～ピアノ&ヴォーカルコンサート、交響曲第九番"歓喜の歌"～ (共催)

日　時：6月6日(土)午後2時開演(午後1時30分開場)
会　場：岸和田市立自泉会館ホール
主　催：市民若手音楽養成所≪ミューズアカデミー≫
入場料：2000円(当日500円増)

●第7回自泉Re.フレッシュコンサート

日　時：8月1日(土)午後6時30分(午後6時開場)
会　場：岸和田市立自泉会館ホール
出演者：未定
入場料：一般前売/1200円 会員前売/1000円
　　(いずれも当日200円増)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業が中止・延期になる場合が有ります。ご了承下さい。

■お問い合わせ　岸和田文化事業協会事務局まで
TEL/FAX 072-437-3801　Eメール fontaine@sensyu.ne.jp

JISEN JUNIOR CONCERT

第9回 自泉ジュニアコンサート

オーディションで選ばれた小学生～高校生によるコンサート

出演者を募集します

日時：8月30日(日)午後2時開演(午後1時30分開場)
場所：岸和田市立自泉会館ホール
出演者：7月12日(日)のオーディションで選ばれた方
入場料：無料(当日先着100名まで)

【募集要項】
ピアノ・声楽・弦楽器・木管楽器演奏に限る。
(複数名での演奏も可、ただしコーラス等は不可)
対象年齢　小学生～高校生
参 加 費　2,000円
出演の為のオーディションがあります。
コンサートで演奏する1曲(8分まで)をご用意ください。
オーディションでは、3分程度で演奏を中断していただくことになります。
また、伴奏者が必要な方は各自ご用意ください。

【オーディションの日程】
7月12日(日)午後2時～　学年順により演奏

【申込方法】氏名・学年・住所・電話FAX番号・演奏曲目(作曲者名)・演奏時間・演奏楽器名をお書きの上、6月14日(日)までに参加費を添えて自泉会館へお持ちいただくか、現金書留でお申し込みください。お申込みいただいた方には、6月30日(火)までにオーディションの案内を郵送いたします。

【申込み・問合わせ】
岸和田文化事業協会
〒596-0073 岸和田市岸城町5-10 岸和田市立自泉会館 内
TEL/FAX 072-437-3801　Eメール fontaine@sensyu.ne.jp

2020年度(2020年4月~2021年3月) 会員募集

年会費	個人会員(1口)	2,000円	団体会員(1口)	5,000円
(入会費不要)	家族会員(1口)	1,000円	法人会員(1口)	10,000円
	(個人会員の同居家族)		特別会員(1口)	50,000円

入会方法　協会事務局(自泉会館)で直接受付致します。
郵便振込の場合は 口座番号 00970—9—28145
加入者名　岸和田文化事業協会

詳しくは、岸和田文化事業協会事務局まで
TEL/FAX 072-437-3801　Eメール fontaine@sensyu.ne.jp

nouvelle Fontaine
vol.67
発行：岸和田文化事業協会
発行日：2020年4月25日

編集後記…

春本番、本来なら最も心弾む季節ですが、各種イベントを自粛せざるを得ない悲しい状況です。芸術文化は人々に元気と希望を与える力があります。その場を取り戻すためにも、事態の収束を願うばかりです。　(小木曽)

◆事務局
〒596-0073
岸和田市岸城町5-10　岸和田市立自泉会館内
TEL/FAX 072-437-3801
Eメール fontaine@sensyu.ne.jp
◆編集委員　近江和代・小木曽由季・黒木幸子・小末もとえ

http://www2.sensyu.ne.jp/fontaine/
岸和田文化事業協会　検索